



# 身近なところから、 喘息やCOPDを考える



**参加費無料**

平成25年度  
熟練患者認定式  
及び  
新年特別講演会

日時

2014年1月19日(日)  
14:00開演(受付開始 13:00)

会場

泉ガーデンコンファレンスセンター  
Room1+Room2  
(南北線六本木一丁目駅直結)

## 当日プログラム

13:00～

受付・バザー開始

14:00  
～14:15

開会の言葉：総合司会  
理事長挨拶：灰田美知子先生  
(半蔵門病院 副院長、エパレク理事長)

第一部

14:15  
～14:30

熟練患者認定証 授与式  
灰田美知子先生  
(半蔵門病院 副院長、エパレク理事長)

第二部

14:30  
～16:30

講演会 座長：エパレク理事

14:30  
～15:00

「スポーツと喘息、アレルギー疾患」  
講師 須甲松信先生  
(東京芸術大学保健管理センター長、  
エパレク副理事長)

～休憩／バザー～ (15:00～15:30)

15:30  
～16:00

「住環境中のアレルギー物質」

講師 川上裕司先生  
(株式会社エフシージー総合研究所  
暮らしの科学部 副部長 環境科学研究室長)

16:00  
～16:30

「肌トラブルとスキンケア」

講師 菅沼薫先生  
(株式会社エフシージー総合研究所 取締役  
企画開発部・暮らしの科学部部長)

【閉会の辞】エパレク理事

～移動～

17:00  
～19:00

懇親会：泉ガーデン 2F  
トラットリアイタリアにて【有料】  
※ご希望者のみの参加となっております。  
会費は、お1人様4,000円となっております。  
参加ご希望の方は、当日受付にてお申し込み下さい。

## エパレク 大抽選会

### ダイソン DC48 タービンヘッドが当たる!

# dyson

ハウスダスト・ダニ・花粉等の対策には普段のお掃除が大切。より確実にゴミを取り除き、より多くのアレルギーを捕えるためには、いい掃除機を使いたいものです。定評のあるダイソンの掃除機をこの機会に使ってみませんか？

講演にご出席頂いた方はもちろん、  
バザーで商品をご購入頂くと  
500円ごとに一枚、ダイソンの  
掃除機が当たる抽選券がもらえます。



### 30%小型化、40%音を低減

DC48はダイソンデジタルモーターを搭載した、ただ一つのダイソン Ball™掃除機です。高速回転かつパワフルなモーターにより生み出される強い吸引力で、すべての床面からより多くのゴミを取り除きます。ダイソンのエンジニアはすべての製品に対し音を改善する方法を探し続け、ボールやサイクロン、クリーナーヘッドの改良により、運転音を低減し音質も改善しました。



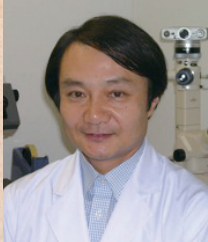
ごあいさつ  
**灰田 美知子先生**  
(半蔵門病院副院長／エパレク理事長)

今年の新年は、皆様、いかがお過ごしですか？月1回、年10回の学習会と、年2回の講演と、年1回の熟練患者認定試験、その模擬試験。「継続は力なり」と言いますが、多くの技術と知恵を身につけて、気がついてみたら「喘息もアレルギーもすっかり改善」と言った新たな発見の年になると良いですね。今年の新年特別講演会も、身近な所で役に立つ講演を企画しました。楽しく学び、是非、快適生活を手に入れて下さい。



「スポーツと喘息、アレルギー疾患」  
**須甲 松信先生**  
(東京芸術大学健康保健センター長 教授)

新年おめでとうございます。最近健康管理の一環としてスポーツを行うことが流行しています。喘息やアレルギーの方たちは、他の健康な皆様と同様にスポーツをやりたいと思っておられますが、ちょっとした注意を怠ると、喘息の方は運動誘発喘息を起こすこともあります。また、スポーツで汗をかいてアトピー性皮膚炎が悪化してしまったり、スポーツ中に食物依存性運動誘発アナフィラキシーが発症したりしたら大変です。是非この機会に、安心してスポーツが出来るためのコツを学んでください。



「住環境中のアレルギー物質」  
**川上 裕司先生**  
(株式会社エフシージー総合研究所  
暮らしの科学部 環境科学研究室 室長)

近年、室内の3大アレルギーとして「ダニ・カビ・ハウスダスト」が一般にも周知されるようになった。特に、室内塵性ダニ類のコナヒョウヒダニ、浮遊カビのアスペルギルス、微小な昆虫であるチャタテムシは注目すべきアレルギー物質である。吸入することによって発症するアレルギー性疾患に係わるアスペルギルスのうち、Aspergillus fumigatus は肺アスペルギルス症の起原因菌として著名である。また、14種類に及びマイコトキシン(カビ毒)を産生することも知られている。演者は一般住宅において定期的に室内浮遊カビをサンプリングし、アスペルギルスの種類と濃度を調べている。これまでに当研究所が調査した結果をもとにカビ対策法について、併せて報告する。



「肌トラブルとスキンケア」  
**菅沼 薫先生**  
(株式会社エフシージー総合研究所 取締役  
暮らしの科学部 部長)

早春は、花粉やホコリ、大気汚染物質によるアレルギーや呼吸器系の病気も心配ですが、冬とは違う肌荒れを起こす方も多いようです。身体を覆っている器官である皮膚は、常時、外の環境にさらされています。鼻や目と同様に、皮膚に付着した花粉やホコリがアレルギー物質や刺激物であると感じると、その異物を早く肌から離そうとするために、ムズムズやチリチリといった痒みや違和感が生まれます。また、花粉やホコリの付着した表皮角質細胞を垢(アカ)として早く剥がそうとするため、角質細胞の生まれ変わりが乱れてしまい、細胞が重なって剥がれ粉が吹いたような状態になることもあります。皮膚の構造や仕組みを知ること、科学的な正しいスキンケアを身につけることができます。スキンケアの基本は、「洗顔」、「保湿」、「紫外線対策」です。健やかな肌を保つために、自分に合ったスキンケアを心がけましょう。

ご報告

18年度から財源枯渇、「全額」を変更

2007年に成立した「東京大気汚染訴訟」の和解条項に基づき、都が導入したぜんそく患者の医療費助成制度について、都は5日の都議会で、現在の全額助成を18年度以降、3分の1に変更することを明らかにした。

助成制度は、同訴訟の和解金などを原資に08年8月から始まり、制度開始から5年後に見直すことになっていた。都によると、14年度中に原資が尽きる見込みで、国なども、継続のための新たな財源の捻出に応じない姿勢を示したという。

都は14年度末で患者の新規認定を打ち切り、15～17年度は経過措置として都費で全額助成を継続する。さらに18年度からは、3分の1助成に切り替える。

全額助成の継続を求めていた「東京公害患者と家族の会」は「患者の意見を全く無視した決定で、到底承服できない」と話している。

(2013年12月6日 読売新聞)

私たちエパレクは、今後も「喘息患者の声を届ける会」の一員として、「相模原アレルギーの会」「日本アレルギー友の会」などの団体と結束しながら、このような制度の改革、継続を訴えてきます。



会場案内

泉ガーデンコンファレンスルーム 1+2  
東京都港区六本木 1-6-1  
泉ガーデンタワー 7F

アクセス

南北線「六本木一丁目」駅改札口直結  
日比谷線「神谷町」駅より徒歩 6分

事前申込書

FAX

03-3263-7249

必要事項をご記入の上、そのままFAXをお願いします。

メール

eparec.evt@gmail.com

必要事項を入力後、ご返信をお願いいたします。



氏名	連絡先(電話・メールなど)	懇談会	会員・非会員
		参加・不参加	会員・非会員
		参加・不参加	会員・非会員
		参加・不参加	会員・非会員